

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H24成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	バ			H24事業内容	H24活動目標(指標)		
1		名護市特色ある教育環境整備事業	H24～H33				
1	①	学習指導支援者配置事業	H24～H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	・学習指導支援者配置数 小学校:5人	学習指導支援者を市内小学校に配置:5校	(今後の展開方針) 学習指導支援者の効果的配置
1	②	生徒指導支援者配置事業	H24～H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	・生徒指導支援者配置数 中学校:5人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善が見られた人数 : 4人	(今後の展開方針) 生徒指導支援者の効果的配置
1	③	小中学校英語支援員配置事業	H24～H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	・英語支援員配置数 小学校:3人、中学校:3人 小中兼務:2人	英語支援員の配置 小学校:3人、中学校:3人、小中兼務:2人	(今後の展開方針) 小中学校英語支援員の効果的配置
1	④	教育用ソフト購入事業	H24	市内の小・中学校へ主要教科(国語・算数/数学・理科・社会)のデジタル教科書・教材などを購入・配布し、教科書の拡大提示や映像資料によるリアリティを持たせる授業をとおし、驚きや感動を与え、児童生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図っていく。	・教育用ソフト配布学校数 小学校:14校中14校 中学校:8校中8校	市内小中学校における教育用ソフトの導入率 小学校:100%、中学校100%	(今後の展開方針) 教育用ソフトの活用を図るため、活用事例等の研修会を実施
1	⑤	中学生海外短期留学派遣事業	H24～H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	・派遣生徒数(累計):12人	海外短期派遣生徒数:12人	(今後の展開方針) 海外短期派遣生徒数(累計) H33年度:100人 現地学習プログラムの充実
1	⑥	適応指導教室支援員配置事業	H24～H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	・適応指導教室支援員配置数:5人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善が見られた人数 : 6人	(今後の展開方針) 適応指導教室支援員の効果的配置
1	⑦	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒が、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	・大会等派遣生徒数(累計):80人	大会等派遣生徒数 H24年度:80人	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数(累計) H33年度:800人

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H24成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業内容			H24事業内容	H24活動目標(指標)		
1	⑧	稲田小学校ハブ除けフェンス設置事業	H24	毎年4・5匹のハブが校内で捕獲されている稲田小学校周辺にハブ防護フェンスを設置し、児童生徒が安全な学園生活が送れるよう環境整備を行う。	・ハブ防護フェンス設置数:1校	ハブ防護フェンス設置数:1校	
2		名護市沖縄関係戸籍の電算化事業	H24	本市の沖縄関係戸籍は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	・紙戸籍の電算化の実施 対象戸籍数:13,956件	沖縄関係戸籍の電算化率:100%	
3		名護市スポーツ・文化環境整備事業	H24～H25				
3	①	陸上競技場改修事業	H24	住民の健康づくりやトップアスリート等による利活用を促進するため、名護市陸上競技場の改修整備によりスポーツ環境の強化を図る。	陸上競技場の走路及びインフィールドのウレタン補修の実施	陸上競技場の走路及びインフィールドウレタン補修の実施	(今後の展開方針) H25年:供用開始、日本陸連第3種公認検定
3	②	真喜屋運動広場整備事業	H24～H25	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、多目的広場としての利用環境を改善する。	真喜屋運動広場拡張整備に係る基本設計の実施	真喜屋運動広場拡張整備に係る基本設計の実施	(今後の展開方針) H25年度:実施設計の実施 H26年度:拡張整備 H27年度:供用開始
4		名護市地場産業の活性化及び6次産業推進事業	H24～H26				
4	①	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)	H24～H26	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	拠点施設敷地造成設計、拠点施設設計、土質調査等の実施	農産物6次産業化支援拠点施設の建設着手	(今後の展開方針) H25年度:建設工事 H26年度:供用開始
4	②	(仮称)名護市青果等市場整備事業	H24	地域農産物の販路の確保、地産地消の推進による農家の所得の安定・向上及び地域農業の振興を目的に、市外・県外への安定した農産物の供給体制を確立するための青果等市場を整備する。	(仮称)名護市青果等市場の整備に係る土質調査、実施設計、外構工事、建築工事、機械工事、電気工事の実施	(仮称)名護市青果等市場の建設着手	(今後の展開方針) H25年度:供用開始
4	③	羽地地域直売加工施設整備事業	H24～H25	羽地地域に農産物、畜産物、水産物等の直売加工施設を整備し、生産者の所得向上及び生産意欲向上による担い手の確保や新規雇用効果により、同地域の経済・産業の活性化を促進する。	羽地地域直売加工施設の実施設設計の実施	羽地地域直売加工施設の実施設設計の実施	(今後の展開方針) H25年度:建設工事 H26年度:供用開始

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H24成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業内容			H24事業内容	H24活動目標(指標)		
バ	細						
5		名護市地域資源と地域特性を生かした観光基盤整備事業	H24～H33				
5	①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。	プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保	プロ野球キャンプ見学者数 H23年度:17,804人(29日間) H24年度:20,000人(28日間)	
5	②	二見以北4小学校跡地等利用事業	H24	閉校となった二見以北4小学校を体験・交流施設等として活用するため、危険性の高い施設を除去し、跡利用の推進に必要な環境整備を行うとともに、学校跡地周辺の地域資源を活用した地元主体の観光基盤整備及び地域づくりに必要な備品等を購入する。	小学校跡利用に向けた環境整備(解体設計・解体工事・便益施設実施設計・便益施設建築工事・備品購入)	危険施設の解体工事の着手	(今後の展開方針) H25年度:事業者による跡利用開始
5	③	大浦マングローブ林体験学習施設基本計画策定事業	H24	体験型観光への転換による地域の振興を図るため、市指定天然記念物である大浦湾のマングローブ林という天然資源を活用した、自然体験学習施設整備を検討するための基本計画を策定する。	大浦マングローブ林体験学習施設基本計画策定(ルート、各種プログラム)	大浦マングローブ林体験学習施設基本計画策定(ルート、各種プログラム)	(今後の展開方針) H25年度～:用地測量、土質調査、実施設計 H26年度～:建築工事
5	④	轟の滝周辺整備事業	H24～H27	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けた整備を行い、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げる。	・轟の滝周辺整備の実実施設計の実施 ・用地測量 ・事業認定申請	・轟の滝周辺整備の実実施設計の実施 ・用地測量 ・事業認定申請	(今後の展開方針) H25～26年度:用地測量、用地買収、補償設計、物件補償 H27～28年度:周辺整備 H29年度:供用開始予定
5	⑤	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24	地域景観資源を保全・再生し、観光振興に活用するため、景観形成方策及び景観形成基準に関する検討を行い、名護市の景観計画を策定する。	・景観計画の策定(景観形成方策及び景観形成基準)	・景観計画の策定(景観形成方策及び景観形成基準)	
5	⑥	名護さくらのまち推進事業	H24～H25	名護さくら祭り会場となる名護城(ナングスク)及びその近隣の緑道並びに観光資源となっている勝山(安和岳、嘉津宇岳、八重岳)へのアクセス道路に桜を植樹し、桜であふれる景観づくりを行い観光資源として活用する。	・桜の植栽整備地区:3地区 ・名護城跡地周辺の桜400本の健康度調査	・桜の植栽整備地区:3地区 ・名護城跡地周辺の桜400本の健康度調査	(今後の展開方針) H25年度:桜の健康度調査に基づく老木の植替え及び治療の実施
5	⑦	21世紀の森公園等機能強化事業	H24	多くの市民・観光客が利用する21世紀の森公園施設の機能強化による利便性・安全性の向上を図るとともに公園の美化・緑化を推進し、本市の観光振興を図る。	・コイン式シャワーユニット設置 ・ハブクラゲ防止ネット設置 ・乗用草刈り機購入 ・高所作業車両購入 ・特殊車両(ユニック車)購入	・コイン式シャワーユニット設置 ・ハブクラゲ防止ネット設置 ・乗用草刈り機購入 ・高所作業車両購入 ・特殊車両(ユニック車)購入	

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H24成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業内容			H24活動目標(指標)			
バ	細						
6		名護市安全・安心のまちづくり事業	H24～H26				
6	①	行政区単位版ハザードマップ作成事業	H24～H26	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。	ハザードマップ作成地区数：5地区分	ハザードマップ作成地区数：5地区分	(今後の展開方針) H25年度：23地区 H26年度：23地区
6	②	トンネル災害及びテロ災害等対応資機材整備事業	H24	平成23年4月に二見バイパス1号及び2号トンネルが開通し、平成24年4月には県内で最長となる名護東トンネルが供用開始されるなど、本市の山間地域には複数のトンネルがある。こうしたトンネル内で発生する車両事故や特殊なトンネル災害に対応するための資機材を整備し、迅速な救助活動を実現する。	トンネル災害及びテロ災害等対応資機材整備	トンネル災害等に対応した資機材の整備	
7		名護市コミュニティ活性化推進事業	H24				
7	①	喜瀬交流プラザ整備事業	H24	喜瀬地区においては、スポーツや豊年祭をはじめとする伝統文化・芸能などの地域活動を通じて観光客との交流・体験活動を計画しており、本事業によりこれら交流拠点の整備を行う。	喜瀬交流プラザの建設着手	喜瀬交流プラザの建設着手	(今後の展開方針) H25年度：供用開始
7	②	地域力発信交流拠点施設整備事業(大北)	H24	近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の練習や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。	地域力発信交流拠点施設(大北)の建設着手	地域力発信交流拠点施設(大北)の建設着手	(今後の展開方針) H25年度：供用開始
8		名護市自転車まちづくり推進事業	H24～H27	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車レーンの整備：1,120m	自転車レーンの整備：1,120m	(今後の展開方針) H25年度：自転車レーンの整備(750m)
9		名護市金融・情報特区推進事業	H24				

H24活動目標(指標)：平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H24成果目標(指標)：平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成24年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H24成果目標(指標)	備考 (今後の展開方針等)
事業番号	事業内容			H24事業内容	H24活動目標(指標)		
バ	細						
9	①	金融・情報通信国際都市形成計画策定事業	H24	平成19年度事業で取りまとめた金融・情報通信国際都市形成計画を踏まえ、これまで進められてきた諸事業の進捗及び成果を検証し、再整理するとともに、検証及び再整理に基づく平成30年度までのロードマップの構築を行う。	金融・情報通信国際都市形成計画の策定(5年間のロードマップ)	金融・情報通信国際都市形成計画の策定(5年間のロードマップ)	(今後の展開方針) <目標値> H30年度:直接雇用者数2,500名 H25年度~:<インフラ施策> 養鶏場跡地利用検討、通信環境改善検討、道路整備協議 H25年度~:<人財育成施策> キャリア教育充実、求職者支援充実、情報発信
9	②	企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24	金融・情報通信関連企業の集積を図るため、県外企業の経営者又は担当者に本市を訪問してもらい、本市の取組み、立地環境、進出企業との意見交換等の情報提供の機会を設け、「名護市」の魅力をもPRし、企業進出の契機とする。	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致:15名	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致:15人	(今後の展開方針) H25年度:企業招聘セミナー開催、パンフレット作成、国内外での広報活動
9	③	豊原地区光ファイバ設備整備事業	H24	金融・情報通信関連企業の集積を図るため、みらい3号館からみらい4号館までの区間に光ファイバによる通信回線の冗長化(二重化)のための整備を実施する。	光ファイバの区間整備:1区間	光ファイバの区間整備:1区間	

H24活動目標(指標):平成24年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H24成果目標(指標):平成24年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(毎年夏頃)までに把握できるものを記載している。